



北の防人大湊づくり構想書 ヒストリアルゾーン

～明治、大正、旧海軍、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～



青森県むつ市

北の防人大湊地区整備構想策定

北の防人大湊地区について

－ 目 次 －

1. 事業概要	1
1-1. 事業の目的	1
1-2. 北の防人大湊整備計画について	
2. 現地状況	
2-1. 水源池公園周辺の現状	2
2-2. 水源池公園周辺の現状	3
3. 市民協働まちづくりによる整備構想策定	
3-1. 策定の手順	
3-1-1. 市民主体の参加型まちづくりワークショップ	4
3-1-2. 第1回WS『水源池周辺まちあるき』	
3-1-3. 第2回WS『周辺まちづくり資源マップの作成』	5
3-1-4. 第3回WS『コンセプト・観光地名策定』	6
3-1-5. 第4・5回WS『具体的なハードソフト事業の検討』	7
3-1-6. 第6回WS『都市再生整備計画の検討』	8
3-1-7. 第7回WS『整備に伴う詳細デザインの検討』	9
3-2. プロジェクトチーム	
3-2-1. 北の防人大湊づくりプロジェクトチーム	
4. 整備計画について	
1. 事業の対象区域	10
2. 整備方針概要図	11
3. ゾーニングイメージ図	12
4. 整備改修イメージ図	13
5. それぞれのまちづくりについて	14
1. ハード事業編	14
2. ソフト事業編	19
3. イベント編	20
4. まちづくり担い手編	21
5. その他	22

レトロ、大正とかをイメージしているのに、構想書にカタカナが多すぎ！
イメージと合わないのでは？
わかりにくい用語が多い。

北の防人大湊地区整備構想策定

1.事業概要

1-1. 事業の目的

平成 21 年 12 月 8 日、『国の重要文化財』として、旧大湊水源地水道施設である「第一引入口(だいいちいんにゆうこう)」「沈澄地堰堤(ちんちようちえんてい)」「乙水槽 (おつすいそう)」の 3 物件が指定され、また、「大近川取水所(おおちかがわしゆすいじょ)」「甲水槽(こうすいそう)」が『重要文化財 附(つけたり)』として指定をうけました。

この貴重な文化財および周辺の景観・歴史などを有効活用し、市民協働、景観を活かしたまちづくりにより水源池公園および周辺の地域を市民、観光客など誰もが親しめる憩いのゾーンとして創出し、むつ市の地域・観光交流の拡大・増進を目指します。



1-2. 北の防人大湊の整備計画について

事業概要

- ・ 観光地名称【北の防人大湊】
～国指定重要文化財「旧大湊水源地水道施設」、北洋館や海上自衛隊大湊基地、釜臥山スキー場など都市公園「水源池公園」周辺から構成される一帯をさします。
- ・ まちづくりのコンセプト『ヒストリアルゾーン
～明治、大正、旧海軍、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～』
- ・ 市民協働まちづくりとして「北の防人大湊づくりワークショップ:30人参加」を計8回開催。
- ・ 国土交通省所管 社会資本整備総合交付金事業の都市再生整備計画(従来のまちづくり交付金)を活用します。

「今後の流れ」

- 平成23年～平成27年の5カ年計画
- 平成23年 実施設計
- 平成24年 工事の随時着手

図 1-1 北の防人大湊位置図



水源池公園は、大湊駅より国道338号線で6km程度は離れたむつ市大湊地区に位置する。地域は海上自衛隊の大湊基地に近接し、自衛隊施設、住宅が周囲に点在する。北側は宇田川の上流につづき、砂防ゾーン、山間の森林となる。背後に、釜臥山、スキー場があり、豊かな自然と相まって潜在的な観光資源を有する。

北の防人大湊地区整備構想策定

2. 現地の状況

2-1. 水源池公園周辺の現状



写真① 国指定重要文化財 沈澄池堰堤



写真② 国指定重要文化財 第一入口



写真③ 国指定重要文化財 乙水槽



写真④ むつ市学習センター

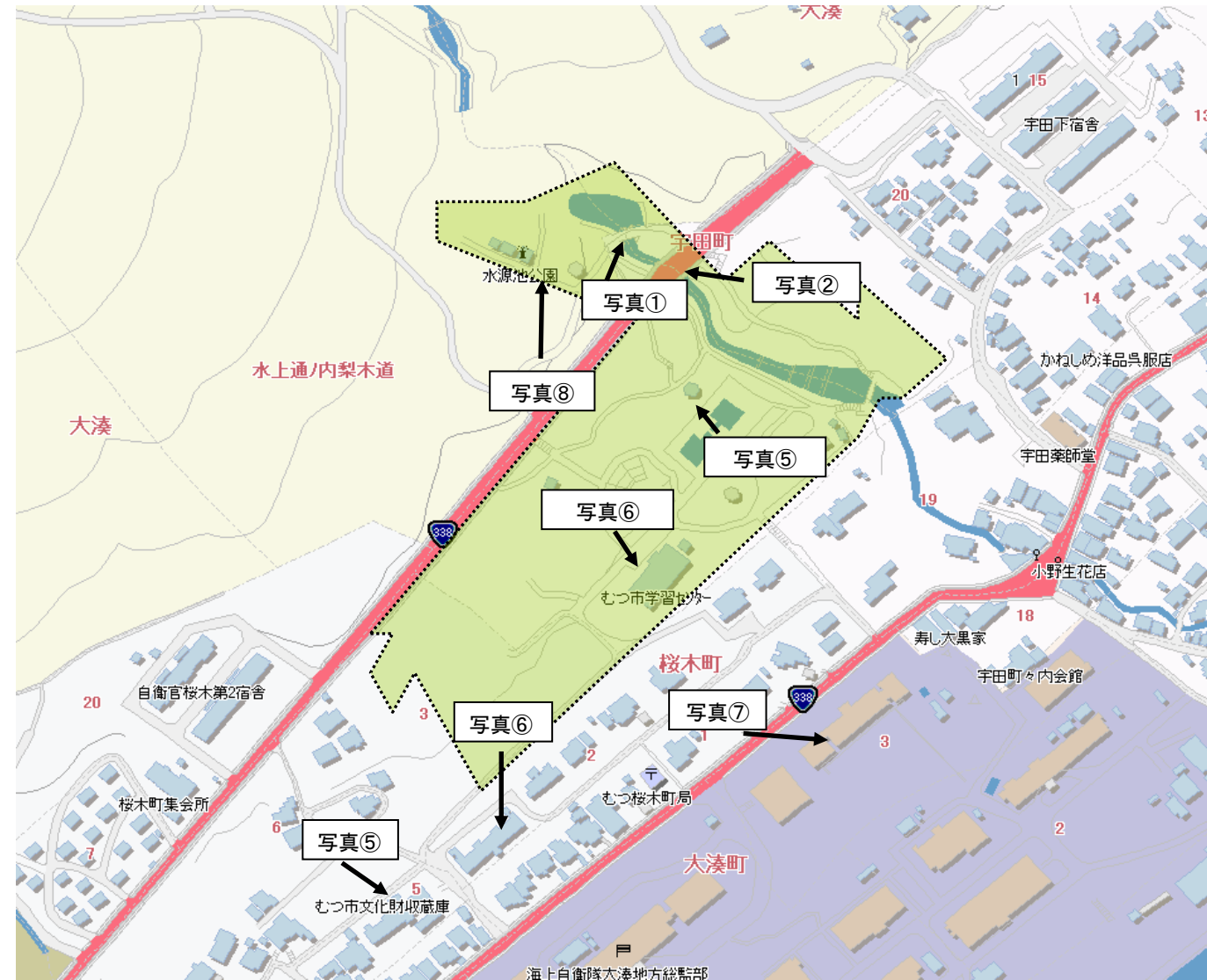


図 水源池公園周辺現状図

写真①: 国指定重要文化財『沈澄池堰堤』。水道施設の拡張工事(明治41年着工、明治43年着工)の一環として建設される。現在は水源池公園のイメージとして市民に定着している。

写真②: 国指定重要文化財『第一入口』。大湊水雷団(明治35年開庁)の艦船補給用水確保のため建設された。

写真③: 国指定重要文化財『乙水槽』。沈澄池堰堤から引かれた管路をろ過池と艦船給水所の2方向に分岐するために築かれた。

写真④: むつ市学習センターはコンクリート造であり、市民の趣味活用の場として使用されている。外壁、屋根の老朽化が目立つ。

写真⑤: 文化財収蔵庫は石造り建築物で、展示品が数多く収められているが、展示スペースが足りずに散乱状態となっている。

写真⑥: 旧大湊高校女子寮は石造りであり、現在は利用されておらず、仕上げ材の老朽化が顕著であるが外壁の損傷は少ない。

写真⑦: 北洋館は大正5年に海軍大湊要港部の水交社(海軍士官の社交場)として建設され、現在は海軍及び自衛隊関連の展示施設として活用されている。

写真⑧: 水源池公園内にプレハブを活用した管理棟が配置され、そこで公園管理を行っている。

写真⑤ 文化財収蔵庫



写真⑥ 大湊高校旧女子寮



写真⑦ 北洋館



写真⑧ 水源池公園 管理棟

北の防人大湊地区整備構想策定

2-2. 水源池公園周辺の現状



写真⑨ 国道 338 号線の案内看板



写真⑩ 水源池公園進入路



写真⑪ 学習センター駐車場



写真⑫ 駐車場、学習センターへ至る道路



図 水源池公園内現状図

写真⑨: 国道 338 号線にある北洋館及び水源池公園の案内看板。大きなカーブの付近にあり見落としやすい。
写真⑩: 北洋館と水源池公園を結ぶ道路であるが、幅員は狭く、歩行者の安全安心の確保が課題である。
写真⑪: 学習センターへの来客者駐車場であるが、桜祭りなどのイベントの際に利用が増加する。
写真⑫: 駐車場、学習センターへ至る道路は幅員が狭く、案内看板が小さく見落としやすい。
写真⑬: 収蔵庫と女子寮の間の道は比較的広く、学習センターへ車で訪れる際にはこちらから入る。
写真⑭: 沈澄池堰堤から流れる水は、宇田川として水源池公園の端を通りやがて芦崎湾へと流れ込む。
写真⑮: 水源池公園内に新設の水洗トイレが 1 棟建設されているが、その他大半のトイレが汲み取り式でバリアフリー化されていない。
写真⑯: 水源池公園からは芦崎湾が一望でき、護衛艦の停泊の様子や芦崎湾の景観を楽しむことができる。



写真⑬ 文化財収蔵庫、大湊高校旧女子寮前道路



写真⑭ 水源地公園内の流水



写真⑮ 水源池公園内トイレ



写真⑯ 水源池公園周辺からの大湊基地眺望

北の防人大湊地区整備構想策定

3. 市民協働によるまちづくり～整備構想の策定～

3-1. 策定方法

3-1-1. 市民主体の参加型まちづくりワークショップ

これまでの事業構想の進め方は、市民等の要望などから、市側で事業構想をまとめる形が主でした。今回は、「道路や建築物など公共施設等の整備・改修のメニュー検討」、「土木・建築工事ではないソフト事業」、「デザイン・景観」などについて、構想初期段階から市民主導で作り上げていく市民協働のまちづくり作業で、整備構想をまとめ上げています。

対象地域や既存施設(既存ストック)などの構想材料をもとに、フリースタイルで市民主導により意見等を出し合い構想案を練り上げていく、いわゆるワークショップ:WSにより構想案を策定していき、さらに、その構想案に対して市民意見を重ねて、最終的に一つの構想に取りまとめました。

**(仮称)水源池公園周辺整備構想作りワークショップ
の開催からスタート**

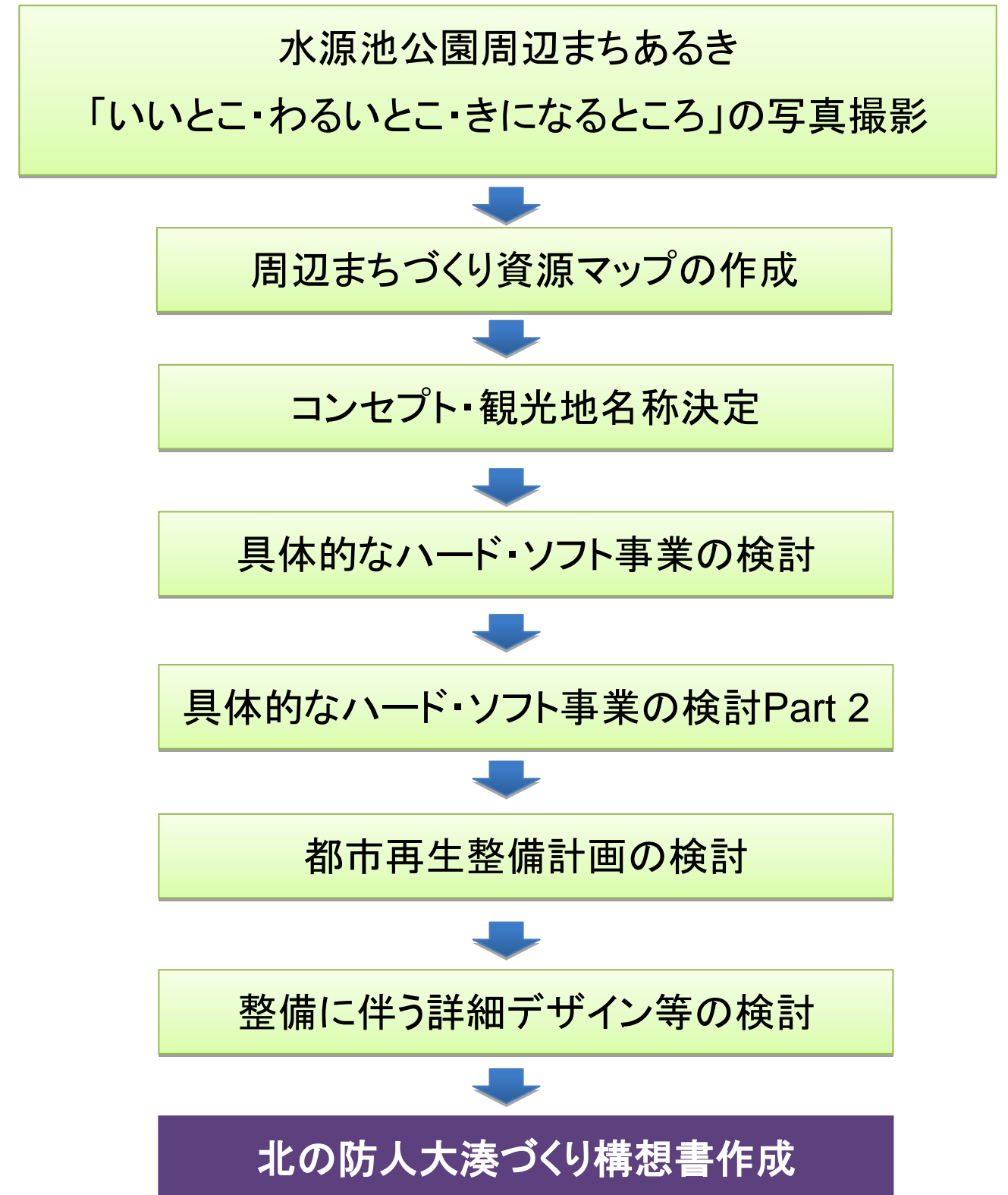
大目標＝目的:訪れる観光客・地域交流の拡大

市民目線で構想を練り上げていく

現実的・具体的な構想書を策定

WSの検討ステップ

作業内容

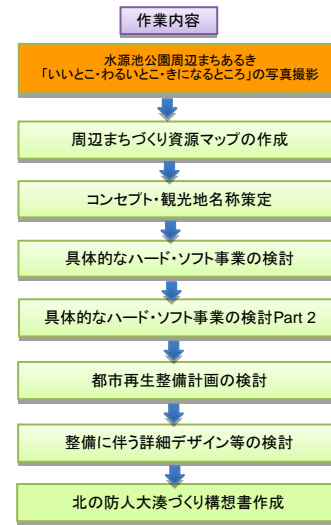


北の防人大湊地区整備構想策定

3-1-2. 第1回WS

水源池公園周辺まちあるきワークショップ 『いいとこ・わるいとこ・きになるところ』の写真撮影

・第1回ワークショップでは、水源池公園周辺の整備内容について、集まっていた市民へ説明を行い、22名のワークショップメンバーを四つにグループ分けをしました。その後、各グループに分かれ、自己紹介ワークショップを行い、水源池公園周辺の探索に出かけました。探索では『いいとこ・わるいとこ・きになるところ』について写真撮影をし、写真撮影後は、各々が感じたことについて意見交換を行いました。また、グループ名も決めました。



【ワークショップグループ】

- ・ 1班グループ
- ・ チーム感幸
- ・ 1班グループ
- ・ チーム水溜り
- ・ 種市チーム

【WS風景】



整備構想説明



自己紹介 WS



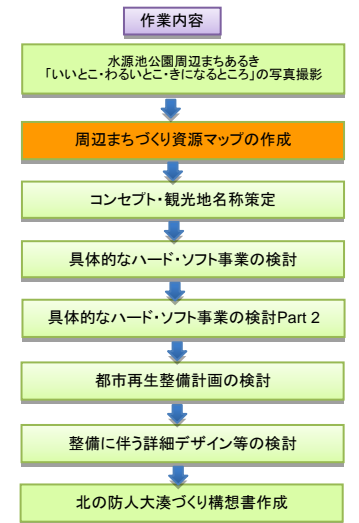
水源池公園周辺探索



3-1-3. 第2回WS

周辺まちづくり資源マップ作成ワークショップ

・第2回ワークショップでは、今回の事業とまちづくり交付金の関係を説明し、その後、まちづくり資源マップ作成を行い、第1回WSで探索したルートを書き込みや、撮影した写真を貼り付けながら、赤、青、黄色の三色の付せんを使って『いいところ・わるいところ・きになるところ』について記入し貼りつけました。さらに急ぎよ緑色の付せんには思いついたことも記入しました。そして、完成した資源マップについて発表会を行いました。



【作業風景】



【資源マップ】

・水源池公園周辺の地図へ実際に歩いたルートを書き込み、撮影した写真を貼りつけていく。また、4色の付せんを使用して、意見を記入。この資源マップを作成したことにより、現状での課題や今まで見えなかった良い面の発見をする。そして、整備の方向性や具体的なイメージづくりとなる。



1班グループ



チーム感幸



チーム水溜り



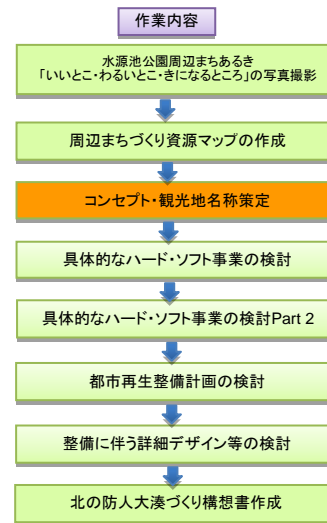
種市チーム

北の防人大湊地区整備構想策定

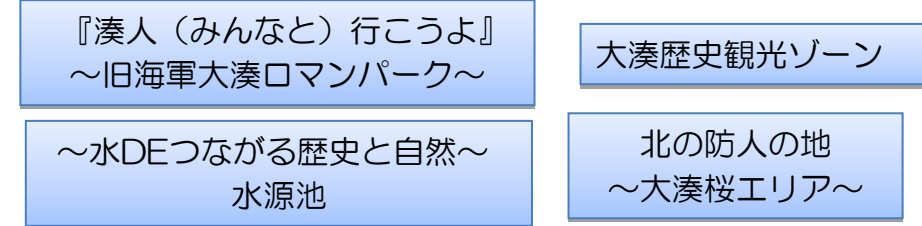
3-1-4. 第3回WS

コンセプト・観光地名称策定ワークショップ

・第3回ワークショップでは、コンセプト・観光地名策定の前に、景観法による景観づくりについての説明を行いました。コンセプト・観光地名策定作業では、第2回ワークショップで作成されたまちづくり資源マップなどから、この観光ゾーンのキーワードを探し出し、それに基づいてコンセプトや観光地名称の検討を行いました。そして、ワークショップの最後に各グループ意見を発表しました。



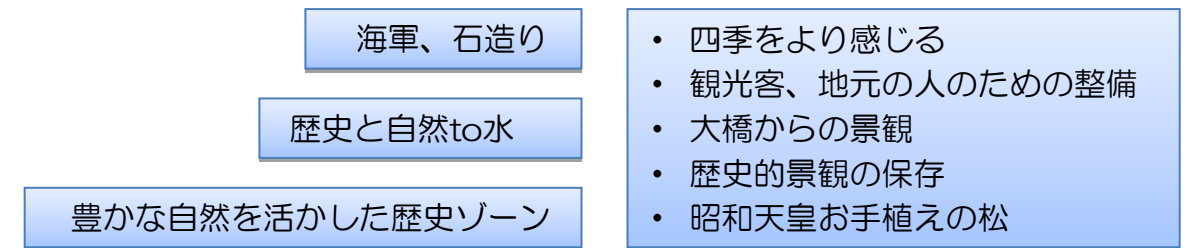
【観光地名称】



きたのさきもり おおみなと

北の防人大湊

【コンセプト】



ヒストリアルゾーン

～明治、大正、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～

【WS風景】



【資源マップ】



1班グループ

チーム感幸

チーム水溜り

種市チーム

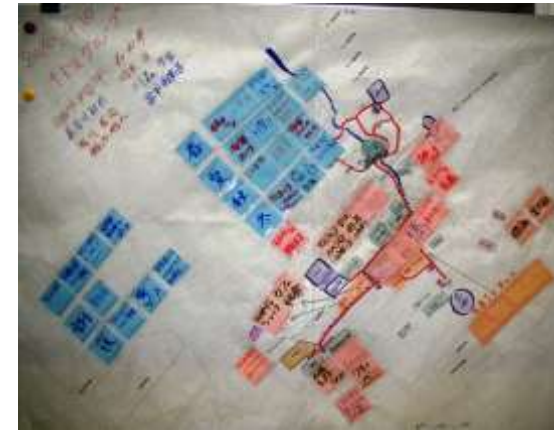
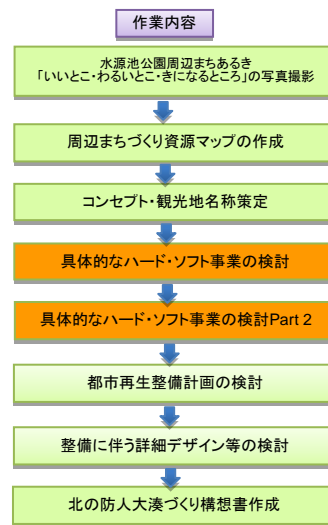
・ワークショップにより出された各グループの意見を集約し、観光地名称を政策推進会議で『北の防人大湊』と決定。旧海軍とゆかりの深い大湊地区であり、北の要港大湊を守るというイメージから、北の防人というフレーズが連想され観光地名に反映されることとなり、また、整備コンセプトとして『ヒストリアルゾーン～明治、大正、海防、石造り建築物、自然豊かな旧大湊水源地～』とし、明治、大正時代のレトロな雰囲気を纏い、旧海軍の海防イメージや使用していた施設をリノベーション活用し、歴史を伝えていき、水源池公園などの自然豊かで癒しの空間の魅力を多くの人に発信していくこととした。

北の防人大湊地区整備構想策定

3-1-5. 第4、5回WS

具体的なハード・ソフト事業の検討ワークショップ

・第4回目のワークショップでは、具体的事業の検討の前に、駐車場と歩くルートについての説明がされました。そして具体的な歩くルートの検討をし、次に、ハード・ソフトメニューについての説明がされ、ハード・ソフト事業のメニュー選択作業を行い第4回WSは終了とし、第5回は、引き続きハード・ソフト事業のメニュー選択作業を行い、最後に各グループごとに歩くルート、ハード・ソフトメニューについて発表を行いました。



1班グループ



チーム感幸

【WS風景】



チーム水溜り



種市チーム



【北の防人キャラクター】



北の防人とのコラボキャラクターたち

デジタル化



観光地キャラクターの誕生

- ・第2、3回目のWSで作成した資源マップやコンセプトシートを基に具体的な事業メニューを検討。
- ・観光ルートの策定を行うことで、具体的な散策イメージを膨らませ、舗装イメージなどが明確化する。また、ベンチや東屋などの休憩スペースの配置計画へと発展し、水源池公園入口にバリアフリー対応のされたスロープの設置など多くの斬新なアイデアが発表された。
- ・海上自衛隊などの他の関係部署とも連携した事業整備も必要であるとする意見もあった。
- ・青色の付せんは『ソフト事業』赤色の付せんは『ハード事業』となっている。また、事業のイメージをイラストにして表現しているグループも見受けられる。

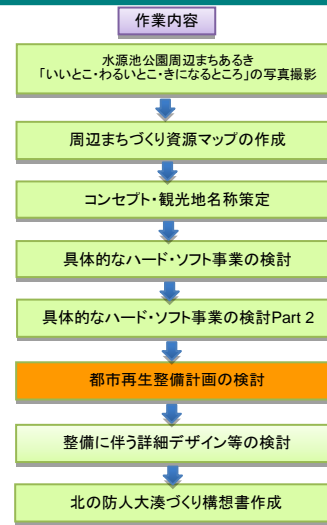
・むつ市のマスコットキャラクターであるムッシュ・ムチュラン1世とマダム・ムチュリーを北の防人大湊のソフト事業とコラボさせ、観光地のキャラクターを生み出した。

北の防人大湊地区整備構想策定

3-1-6 第6回WS

都市再生整備計画の検討ワークショップ

第6回目のワークショップでは、北の防人大湊プロジェクトチームで今まで話し合った意見や資源マップ、コンセプトシート、ソフト・ハード事業の具体的案を基に、ブラッシュアップ(磨き上げ)を行い作成した、都市再生整備計画書についての検討を行いました。なお、人数の都合上、1班グループと種市チームが合併グループとして検討作業を行っている。
この回からWSの名称が北の防人大湊づくりワークショップと改称されました。



A案方針概要図



B案方針概要図

都市再生整備計画の検討にあたり、「文化財収蔵庫、旧女子寮を移設させ機能の集約を図るA案」と「石造り建築物をリノベーション活用し、更に新設の建物を1棟建設するB案」の2案を提示し、目標や指標などの検討を行った。(集約を図るA案がおおむね好評を得た。)

【都市再生整備計画】

都市再生整備計画？

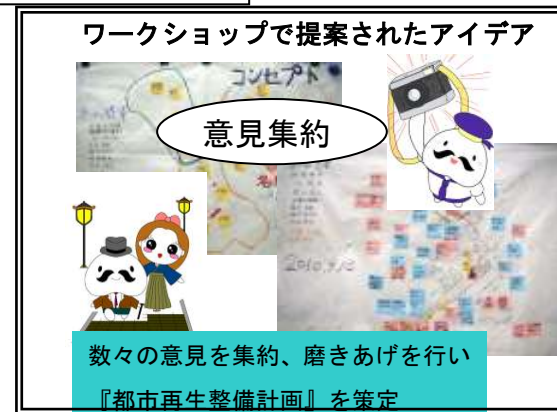
北の防人大湊づくり

都市再生整備計画事業として行われる事業

都市再生整備計画事業

国からのまちづくり交付金(社会資本整備総合交付金)

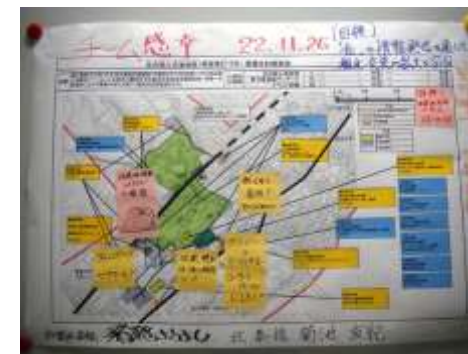
都市再生整備計画の作成が必要不可欠



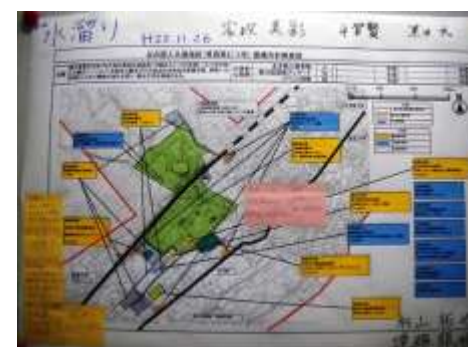
都市再生整備計画とは、「都市再生特別措置法」に基づいて、市町村が作成するまちづくりの計画。これは、都市の再生が必要な土地の区域において、まちづくりの目標やその達成のために必要な事業等が記載され、地域の創意工夫が反映された総合的なまちづくりの計画となります。また、都市再生整備計画に基づいて実施される事業について、事業費の一部に「まちづくり交付金」が国から交付される。(この事業は、まち交などと呼ばれている。)
今回の、北の防人大湊づくりにもこの「まちづくり交付金」を活用するため、都市再生整備計画の作成が必要である。



1班グループ&種市 採用案	A案
区域	・建築がまとまっている ・乗客しやすい ・駐車場の広い ・予算的にも妥当 ・道路がわかりやすい ・妥当だが、城ヶ沢地区まで入れてはどうか
目標3	・思い出に残るような環境 ・自然を活かした環境 ・訪れた方々が何度も来たい
指標	
新指標	・バス乗降客数(最寄りバス停) ・駐車台数 ・ゴミの量
北洋館	・妥当
イベント回数	・妥当
魅力度アンケート	・従前値 20%→10% ・目標値 80%→60%
宿泊	・妥当ではあるが、ちょっと多い?



チーム感幸	A案
採用案	A案
目標3	「食」の情報発信を通じて観光・交流の拡大を図る
指標	・地産地消率の向上 従前値 0% → 目標値 25%
方針概要図	・女子寮に地産地消形のレストランを開設 ・現在の収蔵庫の収蔵機能は他の施設へ移動 ・収蔵庫を室内コンサートホール、ワインバーに改修 内容: ナイトバーでワインバー、ビアホール開催 : ダンスパーティー ・お酒を飲んだら泊まれる宿泊施設がほしい



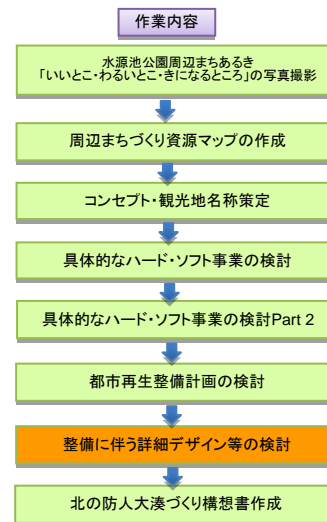
チーム水溜り	A案、B案どちらでもよい
採用案	A案、B案どちらでもよい : 移転しても文化財と認定されるなら移転したほうがよい
指標	
北洋館	・周辺が整備されることで増加が見込まれるので妥当
魅力度アンケート	・目標値 80%→70%
宿泊者数	・周辺が整備されることで増加が見込まれるので妥当
イベント回数	・四季毎に大きなイベント4回 OK(つつじ祭り、あじさい祭り)

北の防人大湊地区整備構想策定

3-1-7. 第7回WS

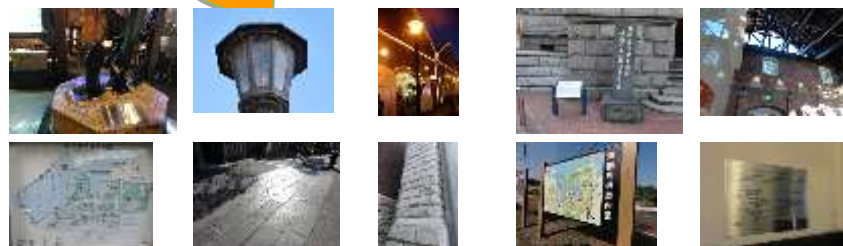
整備に伴う詳細デザインの検討ワークショップ

第7回目のワークショップでは、整備に伴う建物の外装、内装や舗装などの詳細デザインのイメージ検討を行いました。建築物、道路舗装など各フォーマットへ各地軍港や観光先進地の写真の中から、イメージに合うものを選択してもらい、コメントなど入れ具体的イメージを広げていきます。



建物		
地域交流センター(学習センター)	外壁	
地域交流センター(文化財収蔵庫)		
観光交流情報センター(旧女子寮)	内装	
観光交流センター		
道路・小路		
路面舗装		
駐車場		
休憩スペース		
公園・モニュメント		
園路		
休憩		
休憩スペース		
モニュメント		
案内看板		
水源地周辺地区		
公園内		
北の防人大湊地区広域		
街灯		
水源地公園周辺		
公園内		
イベント・その他		

具体的なデザインイメージの写真を選択し、コメントを書き入れていく



1班グループ&チーム様市

建物	外壁	内装	青森県産ひば、杉を使用する。
地域交流センター(学習センター)			
地域交流センター(文化財収蔵庫)			
観光交流情報センター(旧女子寮)			
観光交流センター			
道路・小路	メイン路面	文化財収蔵庫付近	
路面舗装			小道のアスファルトに着色を施す
駐車場			
休憩スペース			
公園・モニュメント	モニュメント		
園路			
休憩			
休憩スペース			
モニュメント			
案内看板	案内看板	説明看板	文化財収蔵庫
水源地周辺地区			
公園内			
北の防人大湊地区広域			
街灯	水源地公園周辺	小路	
水源地公園周辺			
公園内			
イベント・その他	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫	桜祭り

チーム感幸

建物	外壁	内装	石造り建築物イメージ	既存の石造り建築物は外壁をそのまま活かす
地域交流センター(学習センター)				
地域交流センター(文化財収蔵庫)				
観光交流情報センター(旧女子寮)				
観光交流センター				外からの光をたくさん取り入れ、開放感のある雰囲気とする。
道路・小路	路面舗装	休憩スペース	石畳風舗装	バリアフリーを意識した道づくり
公園・モニュメント	園路	休憩	公園入口	案内看板
休憩スペース				
モニュメント				
案内看板	案内看板	説明看板	文化財収蔵庫	道路標識
水源地周辺地区				
公園内				
北の防人大湊地区広域				
街灯	水源地公園周辺	公園内	街灯イメージ	
水源地公園周辺				基本的には六角形の街灯とし、場所ごとに異なる形状の街灯も設置する。
公園内				ガス灯のような深いオレンジ色の街灯を設置する。
イベント・その他				

チーム水溜り

建物	外壁	内装	学習センターイメージ	文化財収蔵庫、旧天湊高校女子寮は現在のまま活用する。	真鍮ふるのファーム
地域交流センター(学習センター)					
地域交流センター(文化財収蔵庫)					
観光交流情報センター(旧女子寮)					
観光交流センター					
道路・小路	歩道	街路チェーン			
路面舗装					
駐車場					
休憩スペース					
公園・モニュメント	休憩スペース	園路舗装	園路の防護柵(チェーン)		
園路					
休憩					
休憩スペース					
モニュメント					
案内看板	案内看板	説明看板	歴史案内板	道路標識	
水源地周辺地区					
公園内					
北の防人大湊地区広域					
街灯	園路灯	メイン街灯			
水源地公園周辺					
公園内					
イベント・その他					

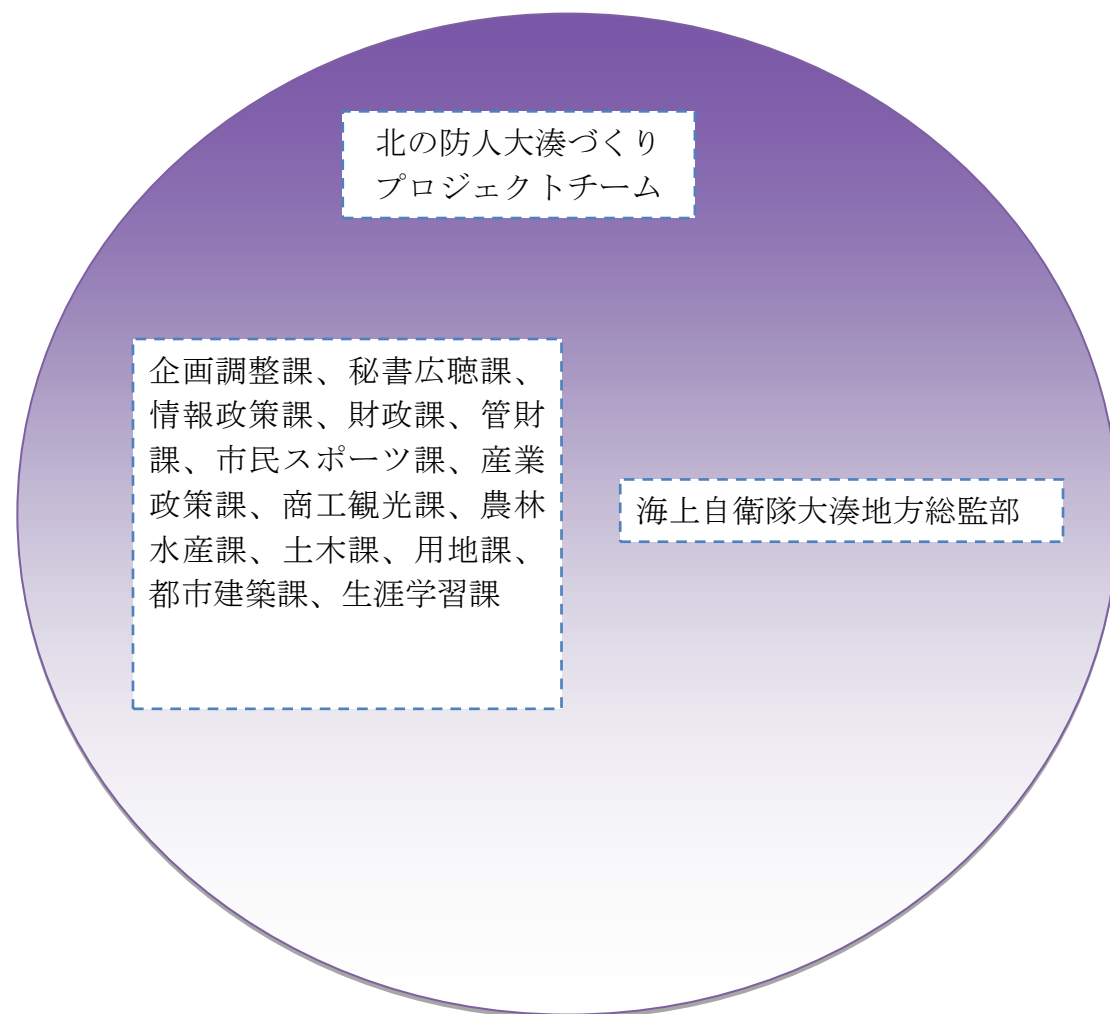
北の防人大湊地区整備構想策定

3-2. プロジェクトチーム

3-2-1. 北の防人大湊づくりプロジェクトチーム(PT)

北の防人大湊づくりは、従来の個別の主管課の単独事業手法とは異なり、あらゆる分野の相互関係により、目標の達成を目指すこととなります。そこでこのまちづくりにおいては、市庁内の多数の課や海上自衛隊大湊地方総監部から構成される「北の防人大湊づくりプロジェクトチーム」が設置されています。

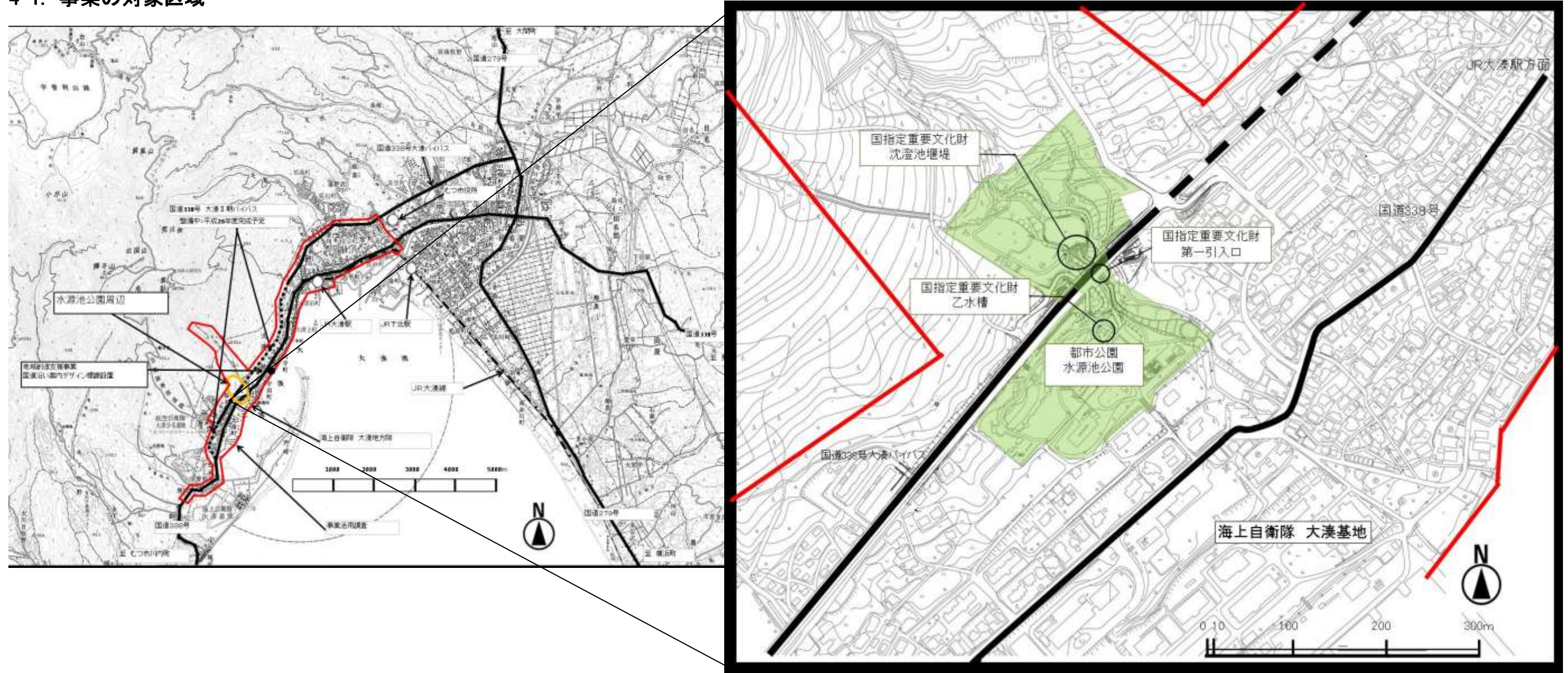
このPTにより、事業の進捗調整、他団体との調整を図り、目標に向かってまちづくりを推進します。



北の防人大湊地区整備構想策定

4. 具体の整備計画について

4-1. 事業の対象区域



都市再生特別措置法に基づく都市再生整備計画【北の防人大湊地区】

【面積】: 510ha

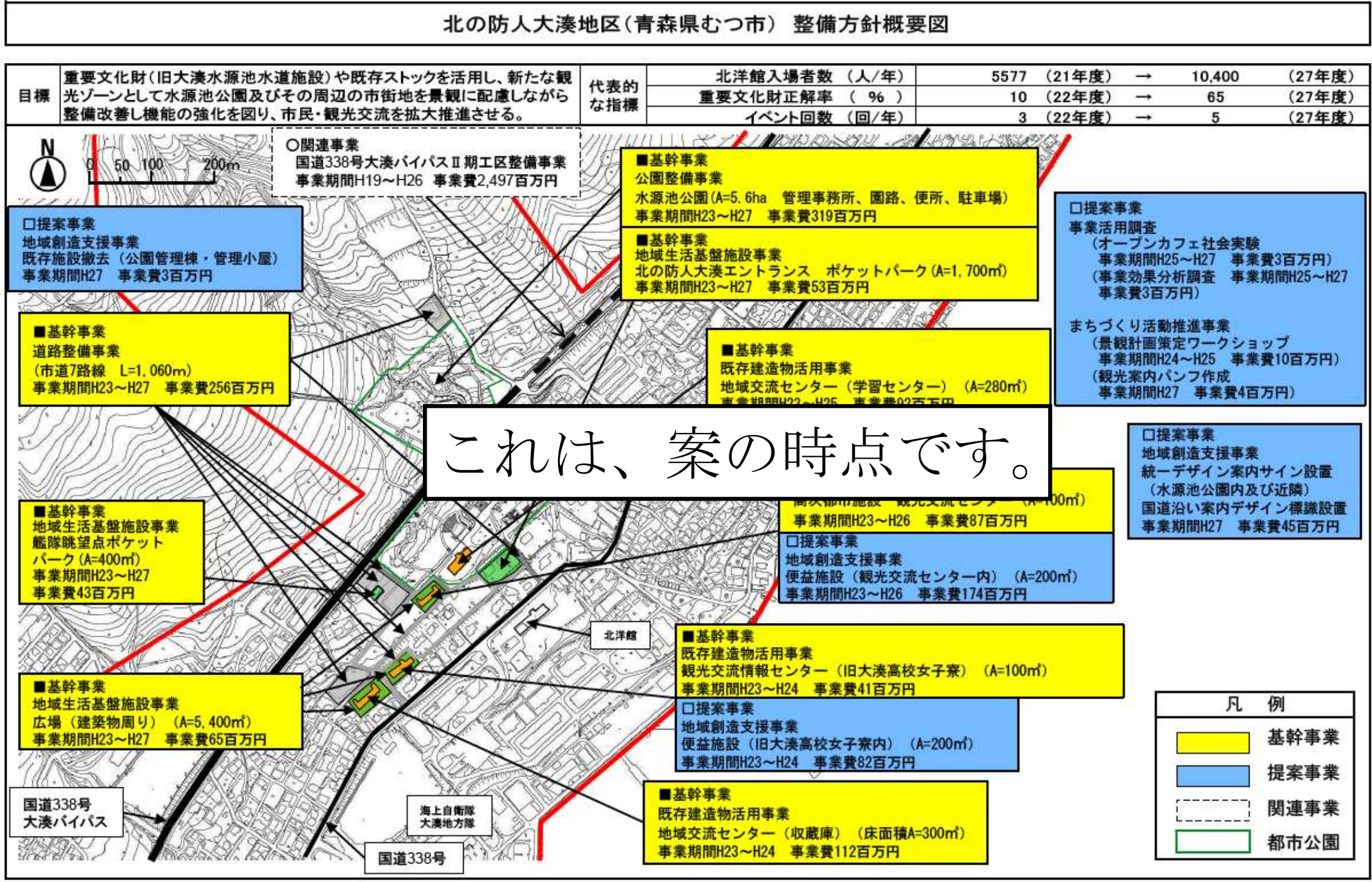
【区域】: 大湊町、川守町の全部及び大字大湊、大字城ヶ沢、桜木町、宇田町、大湊上町、大湊浜町、大湊新町、大平町、旭町、並川町、文京町、山田町、中央二丁目の一部

【メイン整備地区】: 水源池公園周辺

北の防人大湊地区整備構想策定

4-2 整備方針概要図(都市再生整備計画)

・WSで検討された項目を基に事務局側で再度、都市再生整備計画の修正を行いました。修正したものを案として、市のHP、中央公民館、本庁舎都市建築課窓口で公表・縦覧し、都市再生整備計画ならびに北の防人大湊づくりに対する市民意見を募集し、最終的に都市再生整備計画に反映しました。



これは、案の時点です。

凡例

	基幹事業
	提案事業
	関連事業
	都市公園

北の防人大湊地区整備構想策定

北の防人大湊 ゾーニング イメージ図

自然体験学びゾーン

癒しのスペースの水源池公園と、公園管理の拠点となる学習センターとが結びつき、自然環境のレクチャーや植樹イベントの際の市民・観光客集いゾーン

観光交流ネットワークゾーン

北の防人大湊の観光交流拡大と市民、観光客への観光情報の発信の場。更におもてなしやセミナースペースとして憩いの空間を提供するネットワークゾーン

市民開放生涯学習ゾーン

市民向けの交流機能の提供や歴史や文化へ学びの場として開放し、北の防人大湊の伝承創造を生涯に渡って行うゾーン

ゾーンごとにどんな建物があるか表示したほうがよい。
写真とまではいなくても、名称だけでも。

北の防人大湊地区整備構想策定

北の防人大湊（水源池公園周辺）整備改修イメージ図



整備後イメージ鳥瞰図

左：公園管理棟施設及び地域交流センター
右：観光交流センター



艦隊眺望点からの芦崎湾



園路整備イメージ

園路のバリアフリー化、
自然配慮型舗装



国の重要文化財 沈澄地堰堤

これは、案の時点です。



地域交流センター改修後イメージ



道路整備イメージ



自衛隊敷地内の様子



公園管理棟施設及び地域交流
センター改修後イメージ



観光交流情報センター（便益施設）
改修後イメージ



芦崎湾に碇泊中の護衛艦



旧海軍時代からの形を色
濃く残す。大湊海上自衛隊
の1万トンドック



整備コンセプトである明治、大正
時代をイメージした、むつ市のマ
スコットキャラクター
（ムチュラン、ムチュリー）

北の防人大湊地区整備構想策定

5.1 それぞれのまちづくりについて ～ ハード事業編 ～

建築物

- 既存ストックの再生 石造り士官宿舎(旧大湊高校女子寮)
 - 建物名称(例:ザ・女子寮) 防人館
 - 活用方法:主に市民向けの交流施設として、学習センターの機能(市民交流機能、舞・社交ダンスの場など)を引き継ぎ、市民の憩い・交流の場として、コミュニケーションの拡大を図ります。また、市民・観光客のための雰囲気のあるおもてなしの場(歓迎レセプション)やセミナースペースとしても活用を図ります。
 - 外観について:石造りの外観を活かしながら、必要な修復を図り、小物等もキープコンセプトとします。
 - 内装について:dkosahjfosadhfoifdjgjsadfoijweporfjeiafnvloidsno な太陽光を取り込みながら厳かな雰囲気を持ち合わせた整備を目指します。
 - 外構について:金剛水(釜臥山表参道山かけ登拝起点)の配置換えを組み込みながら、開放感を持ち合わせながらコンセプトを踏まえた整備を目指します。

整備イメージ図



before



After



before

レトロな雰囲気を残すのであれば、内装の「厳かな雰囲気」は合わないのでは？
 周りに水を引き込むとボウフラがわく？
 屋根の色は青なの？
 モダンなイメージに(函館赤レンガ倉庫)
 間接照明を設置(内装)
 壁に照明(ランプ)を付ける(外装)
 統一感を持たせる。

- 既存ストックの再生 石造り士官宿舎(市収蔵庫)
 - 建物名称(例:旧文化財収蔵庫) 史学館
 - 活用方法:市民や観光客向けの北の防人大湊に関する、歴史などの学習の場や、展示イベントなどの開催場として利活用を図り、未来にわたって、北の防人大湊での出来事の伝承・創造を図ります。
 - 外観について:石造りの外観を活かしながら、必要な修復を図り、小物等もキープコンセプトとします
 - 内装について:dkosahjfosadhfoifdjgjsadfoijweporfjeiafnvloidsno な太陽光を取り込んだ開放感ある整備を目指します。
 - 外構について:開放感を持ち合わせながらコンセプトを踏まえた整備を目指します。(玄関前面の杉の木は dnsidhas します。)



before



After



北の防人大湊地区整備構想策定

- 既存ストックの再生 学習センター

建物名称: (例: 水源池公園管理センター☆自然学習体験センター)

水源池管理棟、開放館

- 活用方法: 水源池公園の管理の拠点施設とする管理棟として活用し、さらに、自然豊かな大湊水源地を象徴させる場(例えば、植樹イベントなどにおけるスタート地点:レクチャーの場としての活用など)として大きな開放感のある市民・観光客がいつでも利用できるフリースペースとして提供します。
- 外観について: コンセプトにあわせた外観にリノベーション(赤レンガ・石造りなどの外観)し、景観づくりに役立ってます。
- 内装について: dkosahjfosadhfoifdjgijisadfoijweporfjeiafnvloidsno な太陽光を取り込んだ整備を目指します。
- 外構について: 水源池公園内のため、公園工事で併せて、景観の創出を目指します。



before



After



before



After

- 新築 観光交流センター

建物名称: (例: 北の防人大湊集中指令室) センターハウス62、北の防人交流館

- 活用方法

1. 北の防人大湊(国指定重要文化財・石造建造物群・水源池公園・海上自衛隊見学等)の観光案内所 + 海軍系グッズ等おみやげ販売所
 2. 観光交流情報を発信する。北の防人大湊に関する観光情報を提供する。
 3. 北の防人大湊を憩いの空間へと誘う、アクセントを
 4. 添える便益施設(軽食・喫茶機能の提供の場)
- 以上3機能を複合とする拠点施設を、水源池公園、北洋館や海上自衛隊施設、女子寮などの石造り士官宿舎などの点施設の中央箇所に立地させ、各施設を面的活用へ促し回遊性を高める。

- 外観について: 学習センターと隣接するため、外観を隣接する学習センターと統一(赤レンガ・石造り・木造などの外観)し、景観づくりを活性化します。
- 内装について: dkosahjfosadhfoifdjgijisadfoijweporfjeiafnvloidsno な太陽光を取り込んだ整備を目指します。
- 外構について: 学習センターとの連担性を重視し、各々の施設が見渡せるように、景観の創出を目指します。



屋根を黒っぽく
「バリアフリー化」を追加

北の防人大湊地区整備構想策定

公園

- 水源池公園の再生
 - **再生方法:** 高齢者、障がい者、市民、観光客、だれもが訪れたいくなる環境創出の観点から、公園施設(駐車場、トイレ、野外劇場)のユニバーサルデザイン化・コンセプト反映を図り、また、公園内園路については、インターロッキングブロックやゴムチップ舗装等によるバリアフリー化およびウッドチップ系などの自然型舗装の箇所を地形的特性から効果的に配置し、案内サインによる誘導を図ります。



坂道を活かした整備 (滑り台とか)

ポケットパーク

- 北の防人大湊エントランスポケットパーク
 - **整備の方向性:** 水源池公園と北洋館とを連絡するのが、現在段階のみなので、それを補うスロープの設置や、北の防人大湊を象徴するモニュメント(錨などの海上自衛隊装備の設置)や周辺案内板の設置等、小憩機能も兼ね備えたメインエントランスとした整備を図ります。

「ポケットパーク」ってなに？

- 大湊基地展望台ポケットパーク
 - **整備の方向性:** 観光案内所北側の高台の一角に、展望台を設置し、新たな眺望点とするポケットパークとして、市民・観光客に写真スポットを提供します。

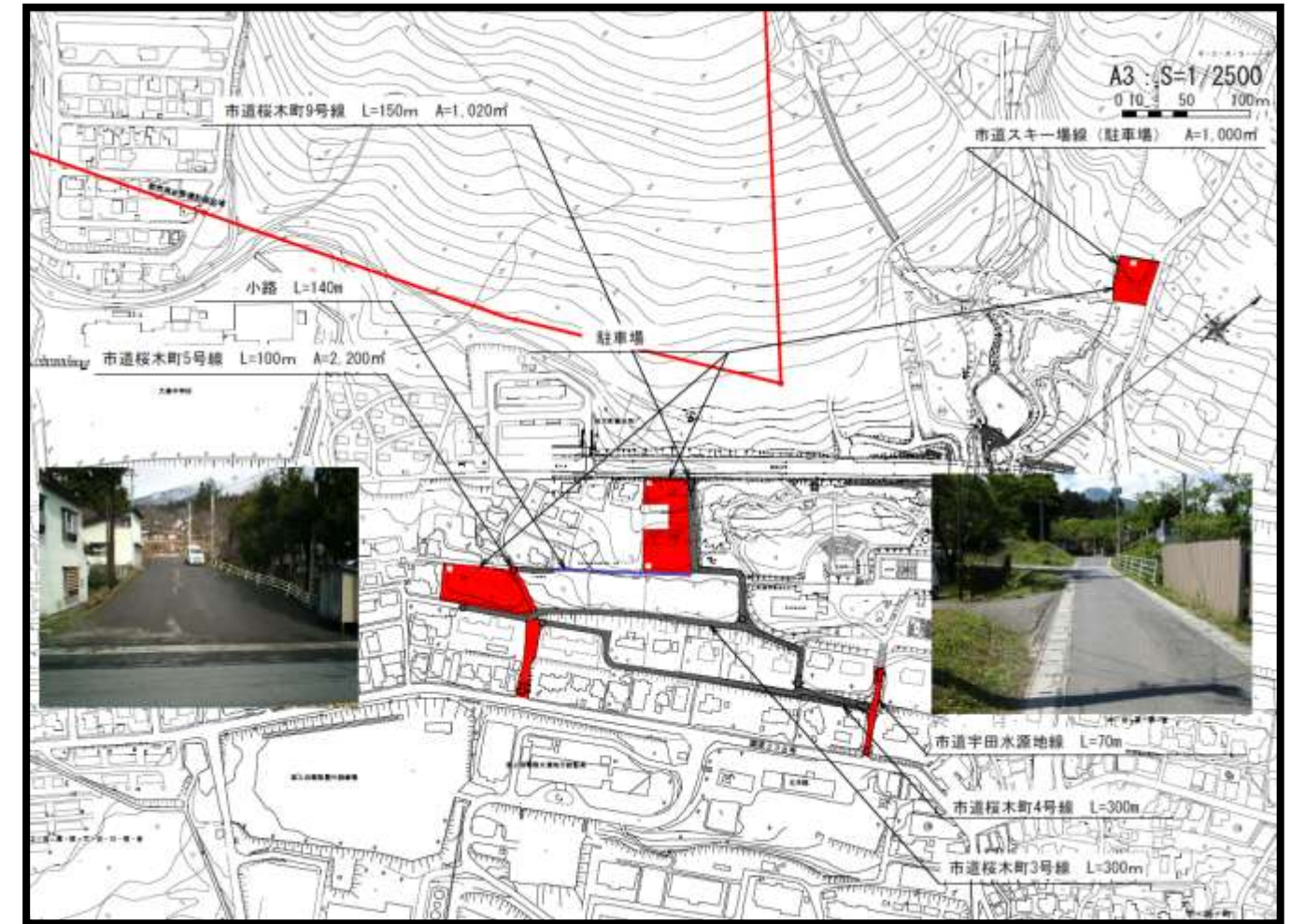


北の防人大湊地区整備構想策定

道路

- 周辺市道(宇田水源地線、桜木町 3 号線、桜木町 4 号線、桜木町 5 号線、桜木町 9 号線)を、舗装のデザイン化などを図り歩きたくなる環境を創出し、回遊性を高めます。
 - 市道 宇田水源地線 整備延長L=70m
 - ◇ 現道が、約 4m幅員です。水源池公園と北洋館を結ぶ重要な路線のため、歩道を設置します。また、国道 338 号線との接続箇所には、歩行者のための退避スペースを設け、回遊性を高めます。
 - 市道 桜木町 3 号線 整備延長L=300m
 - ◇ 現道が、約 6m幅員です。現道のデザイン化を図りながら、回遊性を高めます。または、エントランスポケットパークのスロープ及び小路に回遊の役割を預け、3 号線の改良延長を縮小することも考えられます。
 - 市道 桜木町 4 号線 整備延長L=300m
 - ◇ 現道が、約 4m幅員です。北洋館と石造り士官宿舎(旧大湊高校女子寮、市文化財収蔵庫)とを連絡する、重要路線ですので、道路拡幅(歩道設置または地区計画でのセットバックによる公開空地の確保)も検討しながら、回遊性を高めます。
 - 市道 桜木町 5 号線 整備延長L=100m
 - ◇ 現道は、バスの停車帯が確保できるほどの、幅員が確保され、また、国道 338 号大湊バイパスに上る箇所は、約 4mの幅員となっています。遠足・観光バスなどの停車も考慮に入れ、また、収蔵庫北側に予定されている桜木町 5 号線駐車場への往來の安全確保のため、道路を拡幅します。
 - 市道 桜木町 9 号線 整備延長L=150m
 - ◇ 現道は、市道桜木町 3 号線から、水源池公園に向かう約 30mの市道ですが、本事業において、新築の観光交流センターと学習センターの間を通り抜け、さらに、北側国道 338 号大湊バイパスへの連絡道路として、延長します。この道路の位置づけは、北の防人大湊での観光交流ゾーンを貫く道路ですので、速度を抑える工夫を備えた整備を検討します。
 - 市道 小路(こみち) 整備延長L=140m
 - ◇ 桜木町 5 号線駐車場、石造り士官宿舎(収蔵庫・旧大湊高校女子寮)などの生涯学習ゾーンと観光交流センターなどの観光ゾーンを楽しく回遊するための、むつ市初の自転車歩行者専用道路(市道認定:一部建築物の接道箇所もある)として配置し、歩きたくなる環境を創出します。
 - 駐車場(道路付属物)
 - ◇ 市道 桜木町 5 号線駐車場 整備面積A=2,200 m²・・・収蔵庫北側・小路で観光交流センターとを結ぶ。
 - ◇ 市道 桜木町 9 号線駐車場 整備面積A=1,020 m²・・・観光交流センター北側・水源池公園西側・大湊基地展望ポケットパーク隣接
 - ◇ 市道 スキー場線駐車場 整備面積A=1,000 m²・・・国道 338 号大湊バイパスから市道スキー場線へと進入したバス・自家用車などの駐車場
 - ✓ 上記 3 駐車場は、道路区域と一体とした道路の付属施設となります。(安全かつ円滑

- な道路の交通の確保)
- ✓ ほかにも水源池公園の駐車場もあります。整備面積A=1,000 m²・・・スキー場線駐車場南側



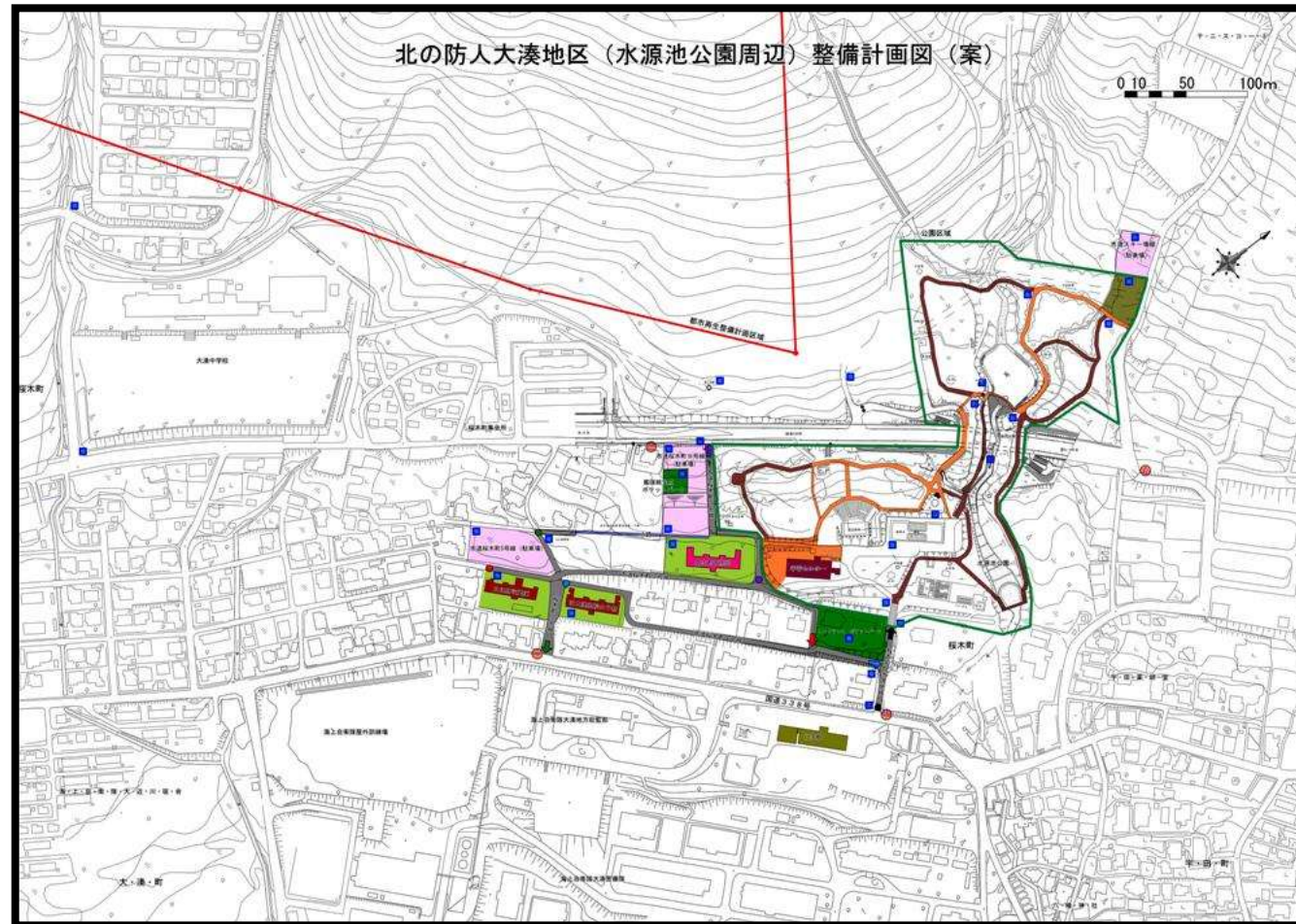
北の防人大湊地区整備構想策定

案内情報板など

- **案内サイン**
 - 施設名および距離を表示することにより、市民・観光客の周遊時間の調整に役立っています。デザインは、公園内、水源池公園周辺ともに共通デザイン化を図りながら、北の防人大湊の一体感づくりに役立て、景観づくりにも役立っています。また、観光地北の防人大湊以外の場所(大湊駅周辺など)でも、サイン等の統一化が図られれば、さらに大湊のまちづくりが高まるかと思えます。
- 各施設案内版
 - 重厚感のある説明版を設置し、歴史を後世に伝えます。(デザインは各施設の雰囲気に合わせてもいいかと考えます。)
- 国道沿い観光案内標識
 - 車での来訪者へ、北の防人大湊へ近づき始めたことを知らせる共通デザインの案内標識を国道沿いに設置します。



案内看板設置候補地



ライトアップなど

- 建築物や、国指定重要文化財、園路、道路、樹木などへの効果的な光の演出により、夜の雰囲気づくりも図ります。

その他

- 案内看板をムチュラン・ムチュリーで造っては？(モニュメント的なもの)
-

北の防人大湊地区整備構想策定

それぞれのまちづくりについて ～ ソフト事業編 ～

景観計画策定

- 都市再生整備計画事業の「北の防人大湊地区」における、市民・企業・行政などによる今後の景観づくりのための、景観計画を市民協働で策定します。
 - むつ市は現在、景観法による景観行政団体ではありません。今回、この景観計画を策定することで、法的拘束力はありませんが、北の防人大湊での景観づくりを行うことにより、継続したまちづくりを展開し、すばらしいまち大湊への発展を目指します。また、むつ市が景観行政団体となる時の先導的役割を担います。

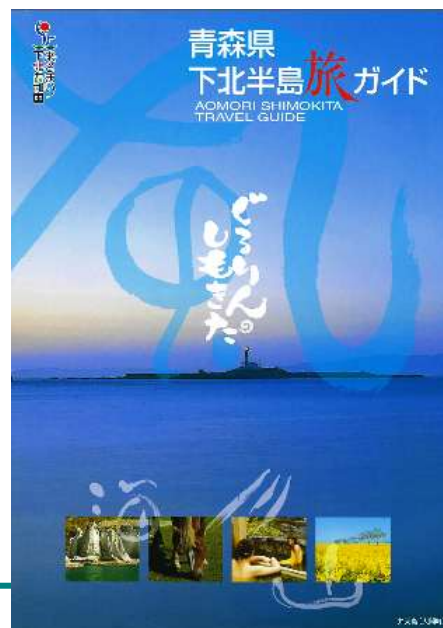
オープンカフェの社会実験

- 都市再生整備計画事業において、観光交流センターの完成後(予定H25 年度～)から、便益機能の軽食・喫茶機能運営のためのデータ収集を目的とする社会実験を行い、その後の効果的な運営を探ります。

社会実験って？
具体的には？
屋台村もおこなっては？

観光案内パンフレット作成

- 都市再生整備計画事業において、新観光地「北の防人大湊」への、来訪者を増やすための、案内パンフレットを整備完了年度時(H27 年度)に作成します。



北の防人大湊地区整備構想策定

それぞれのまちづくりについて ～ イベント編 ～

海上自衛隊施設見学ツアーの実施

- 観光交流センターとの連携により、北の防人大湊における重要拠点の海上自衛隊施設の見学の機会をさらに創出し、北の守りを広報します。



冬のイベントの実施

- カマフセスノーフェス
 - 冬季における市民・観光客を巻き込んだイベントの開催が、むつ市における一つの課題です。そこで、釜臥山スキー場、海上自衛隊、観光交流センターを有する北の防人大湊を活かし、新たな冬のイベントを検討します。



具体的なイベント内容は？
釜臥山、スキー、スノーボードの大会
(ジャンプ、BOX、クロカン、レーシング)
冬以外のイベントは？
シラネアオイ観賞、山菜取り

自然に係るイベントの実施

- **桜で染まれ**、北の防人大湊 市民協働植樹イベント
 - その昔、一家に一本の桜が植えられ、そのことから桜木町という名が冠されるなどの歴史をもつ旧大湊水源地周辺でした。
そこで、自然学習体験センターをイベント開始起点としながら、その維持管理が難しいソメイヨシノなどの植樹について、苗木を市で手配し、それを市民が購入し、市民の手によって、水源池公園内や、都市再生整備計画の「北の防人大湊地区」内の公共用地や地区計画などで確保される公開空地などに植樹者の銘板が付された植樹を施し、まさしく、市民による、市民のための、市民の桜で、すばらしいまち大湊のまちづくりを推進しようとするものです。(観光イベントとしての活用も考えられます。)
- **つつじで染まれ**、水源池公園 市民協働植樹イベント
 - 現在、水源池公園には、時期がくると素敵な花が咲き乱れるつつじがあります。そこで、市民協働植樹イベントなどにより、つつじの咲き乱れる範囲の拡大を目指し、新たな観光スポットの創出を図り、また、咲いたつつじを活かしたイベント(つつじまつり)の開催などしたいものです。
- **咲き乱れる花たちよ** 北の防人大湊フラワー 植樹イベント
 - 水源池公園や釜臥山スキー場に花を植樹することにより、自然豊かな大湊に彩を添えようとするもので、これを市民の手により直接、種子や苗の植樹活動を通して、継続した景観づくり・まちづくりを推進しようとするものです。

イベントの開催時期は？



北の防人大湊地区整備構想策定

それぞれのまちづくりについて ～ まちづくり担い手編 ～

持続可能なまちづくり

- 都市再生整備計画事業終了後の、市民等、多様な主体によるまちづくり
 - 北の防人大湊も含めた、すばらしいまちをおみなどを育てていくには、市民等、多様な主体がまちづくりに参画することが、求められます。
そこで、イベントなどきっかけづくりは行政側で始めるとして、以降の継続したまちづくりは、その後の担い手等の活躍に期待したいところです。
 - 観光交流センター、自然学習体験センターなどを、活動基地とする案内ボランティア、自然体験案内人など、さまざまな、まちづくりの担い手により、永遠につづくまちづくりを期待します。

表現が市民任せな感じがする。
市役所、市民が協働でまちづくりしていきましょう
…的な表現の方がよい。
市民が集うような内容（自分が行きたい）のイベントの開催（食の祭典など
フォトコンテストの開催

他の観光地との連携等も盛り込んだ方がよいのでは？
恐山、薬研等。

北の防人大湊地区整備構想策定

それぞれのまちづくりについて ～ **その他** ～